



令和8年度 予算のお知らせ

第45回組合会（令和8年2月17日開催）において本年度の予算案が承認されましたので、加入者の皆さまにお知らせいたします。



一般勘定

■ 収入

収入において、一般保険料は被保険者数が微増、標準賞与額総額は減少を見込みますが、賃上げ等による標準報酬月額が増加する見通しになり前年度予算比4.5%増の37億4,500万円を見込みます。

また、年度前半における収入不足を補うために別途積立金より約3.7億円の繰り入れを行います。その他、高額医療に対する財政調整事業交付金、出産育児交付金などを加え、収入合計は前年度予算比約7,500万円増の42億1,600万円を見込みます。

■ 支出

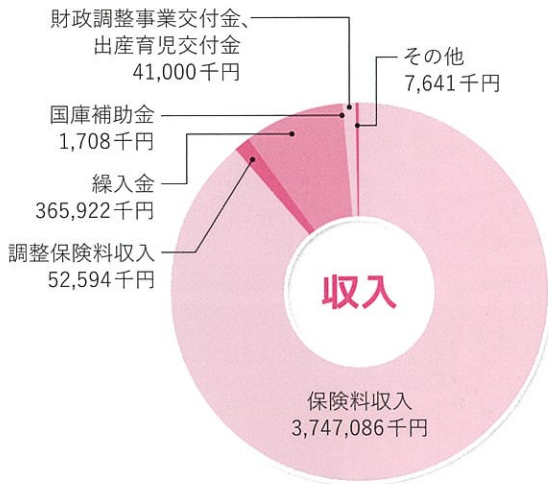
支出においてですが、事務所費について賃金上昇等による人件費増約38万円等を見込み前年度予算比約300万円増の1億3,853万円を見込みます。

保険給付費においては、加入者の高齢化に伴う一人当たり医療費の増加や近年の高度先進医療の普及、高額薬剤の処方等を勘案し保険給付費全体で前年度予算約1.2億円（5.8%）の増加を見込み総額約21億2,796万円を計上しました。

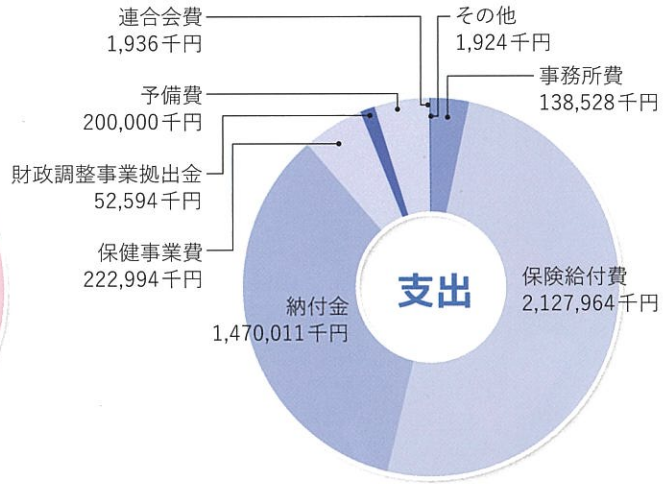
保健事業費については、厳しい財政状況を鑑み疾病予防費をはじめとして実績ベースによる予算の組み立て、PepUpにおけるポイント付与等についても見直しを行いました。一方で直接加入者負担に影響のある人間ドックやインフルエンザ予防接種の補助金の単価については当面見直しを行わないこととし、保健事業費全体で昨年度予算比約16%減の2億2,299万円としました。

P6～7に本年度の保健事業一覧を掲載しています。有効に活用いただき健康の維持増進にお役立てください。

収入 4,215,951千円



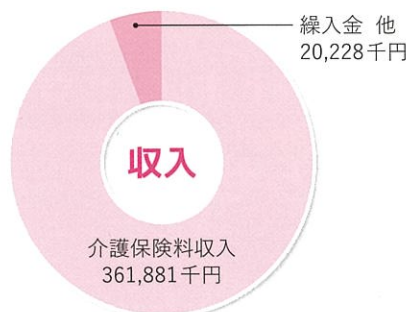
支出 4,215,951千円



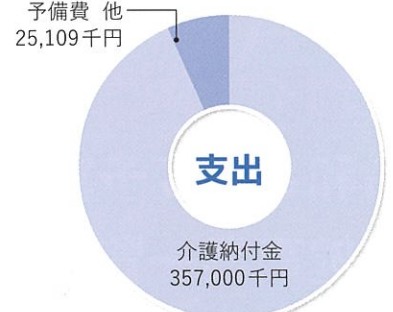
介護勘定

40歳以上の被保険者数は今後も右肩上がりに増加することが予想されており、介護保険料の収入は前年度より増加することを見込んでいますが、介護勘定全体として収支の均衡が保たれているため料率の改定は行いません。

収入 382,109千円



支出 382,109千円



子ども勘定

今年度より子ども勘定が新設されました。子ども子育て支援金率は国より示された0.23%となり、事業主、被保険者で折半となります。今年度の収入合計は86,118千円を見込み、支出

において納付金が82,000千円を見込み、予備費として4,109千円を見込みますがこちらは予算が予定通りに推移した場合に全額準備金に充てられることとなります。